

一般財団法人全国建設研修センター新理事長に係る情報等

- 役 職 理事長（代表理事）
- 氏 名 赤 川 淳 哉（66 歳）
- 就任年月日 令和 5 年 6 月 1 6 日
- 前 職 理事長（代表理事）

○選考経過・選考理由

当センターは、建設技術等の普及向上を図ることにより、国づくりに携わる人材を育成し、国土の整備に寄与することを目的とし、研修事業、試験事業、講習事業、教育事業を四つの柱として実施する法人である。

理事長は、法人の代表として当センター経営・運営の基本方針を定め、高度な見識と知見を踏まえ業務の適正な執行に向けて役職員に対する的確な指導を行い、行政機関や関係団体との渉外、対外的な調整等を行う。

当センターは、平成 2 4 年 4 月に一般財団法人に移行したが、建設業法に基づく国土交通大臣の指定試験機関として土木施工管理技術検定等の国家試験及び各事業の実施により社会的な責務を引き続き果たすとともに、公益目的支出計画の的確な遂行を図ることが求められている。また、近年、建設事業における技術者の育成確保について、コロナ禍など環境の変化に対応したニーズに即して当センター事業の再構築を図るとともに長期的視野に立って持続的な経営を確立する必要がある。

氏は、長年国土交通省、総務省ならびに各種団体の組織の要職にあって管理職としての十分な実績を持ち、関係する分野に広く人脈を有している。特に国土交通大学校の校長として広く建設分野の人材育成に携わり、当センターの業務内容についても熟知している。令和 3 年 6 月から当センターの理事長として事業全体の円滑かつ着実な運営に努めてきたところである。

当センターの経営・運営等の課題も山積しており、また、国内外における大きな変化が加速する中で、社会の要請に適う事業の展開を進めるため、氏の豊富な経験と実績は、引き続き理事長として当センターを導くに相応しい。

以上について、複数の外部有識者で構成する役員評価委員会が評価を行い全会一致で役員として適任であるとの評価を得た。

この結果を踏まえ評議員会で役員に選任後、理事会において理事全員の互選により理事長に選定され、国土交通大臣に認可申請を行い、同氏を理事とすることにつき認可された。